

## 越前町議会・令和6年6月定例会一般質問【伊部良美議員】

(令和6年6月5日 午後1時23分 開始)

- 11番(伊部良美君) 質問に先立ち、副町長、教育長の就任におめでとうございます。町民のニーズに応じていただくようお願いを申し上げます。
- それでは、議長のお許しをいただいているので、通告に基づいて質問をいたします。主要地方道越前宮崎線について伺いをいたします。
- 現在、この道路は途中で止まったままの状態、何年も放置されてきているが、町として今回城崎小学校と四ヶ浦小学校が来年4月に越前小学校として統合されるのに際して、この道路に対して町として、何かしら県に働きかける考えにならないかどうか、お尋ねをいたします。
- 議長(佐々木一郎君) 建設理事。
- 建設理事(原 雅哉君) 建設理事、原です。
- それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。
- 主要地方道越前宮崎線は県において昭和50年から急カーブ、急勾配区間を改良する計画で事業が進められました。熊谷側から工事が進められ、平成17年までに熊谷トンネル及び橋梁区間を含む延長約3.7キロメートルが完了しており、その先につきましては用地取得が難航し、現在事業が中止しております。このたびの城崎小学校と四ヶ浦小学校の統合が本路線の整備促進を働きかける要因となるとは思われませんが、地域における住民の利便性や安全で安心な生活を確保する上においては事業の再開が望まれますので、越前町県道改良整備促進期成同盟会の中で、本路線につきまして県に要望していきたいと考えております。
- 以上です。
- 議長(佐々木一郎君) 伊部良美君。
- 11番(伊部良美君) 現在、城崎小学校の前を走っている道路、米ノ厨線は町道でやるかと思っていますが、この道路の幅員なども狭く、統合されると車の往来も多くなり、歩かれる児童も危険性をはらむかと思われしますので、県道への昇格を働きかける考えにならないかどうか。もちろん地元の畑仕事に電動三輪車で運転される皆さんを事故から守るためにも要請すべきかと思っています。この先に国道305号線に連結され、県道の利用度も観光面においても利便になるものかと思われるので、一度設計書なども県のほうで作成されているかと思っているので、町として県に再度地元、茂原地区と協議もされ、働きかけていただきたいと思うが、町長の考えをお示してください。
- 議長(佐々木一郎君) 町長。
- 町長(青柳良彦君) お答えいたします。
- 町道米ノ厨線の城崎小学校から主要地方道越前宮崎線までの約640メートル区間は地元の要望もあり、平成26年度に現道拡幅案を計画しましたが、一部地権者の同意を得ることができず、事業の着手には至っておりません。
- 議員ご指摘のとおり、越前小学校の開校後は通学時や学校行事などの際には車の往来が多くなることが予想されますが、用地未解決路線の県道への昇格は困難であり、町としましては再度現道拡幅について地元と協議し、地権者の同意を得られるよう努めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。
- 議長(佐々木一郎君) 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ありがとうございます。

ぜひそういう角度で協力をお願いしたいと思います。

漁火の温泉の運営について伺いをいたします。

現在、長い間、アクティブ会員権を廃止されるような考えをされているようだが、  
どういう理由があつてのものなのか。またお客さんが長い間親しまれた皆さんからの  
苦情がないのか。何か町の一方的なやり方にしか聞こえないが、お客さんに丁寧  
な説明をされているのか、伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

それでは、ご質問にお答えします。

アクティブハウス越前の会員券は当該施設、温水プールの利用促進を目的に会員の  
露天風呂漁火の利用を無料とする特典をつけて運用してまいりましたが、閑散期であ  
る10月から3月において温水プールを休館としたことと、令和4年度における会員  
の温水プールの利用者約4,600人に対し、会員券による漁火の利用者が約2万6,  
000人となっており、会員券の利用が漁火が主となっていることから、令和5年7  
月から会員券の新規発行及び更新を停止しています。

会員券の停止に際しましては令和5年4月、越前地区区長会において状況を説明し、  
ご意見を伺った後、会員の皆様には文書によるお知らせとご来場の際に、会員お一人  
おひとりに事情を説明させていただいております。会員の皆様からは会員券廃止後の  
漁火の利用に関していろいろなご意見をいただいたため、温水プールの休館中におい  
て65歳以上75歳未満の町民の利用者を対象に、漁火利用料大人1人520円のと  
ころを11回分3,100円でお求めいただける回数券の販売により対応させていた  
だいております。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 現在の会員券を利用されている会員数は何百人ぐらいおられるの  
か。この方たちの皆さんの意見などに対応などに説明、了承なりを得られると思っ  
ておられるのか。どのように考えを持っておられるのか、お聞かせをください。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

6月1日現在における会員数は79名です。

先ほども申し上げましたとおり、会員からは漁火の利用に関して料金が高くなる  
のご意見がありましたが、温水プールの休館に伴う会員券の廃止であることを丁寧  
にご説明いたしました。また、休館中の回数券も好評であることから、一定のご理解は  
いただけたものと考えております。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 今後の漁火温泉の顧客をどのように見いだしていく考えでいる  
のか、お示しをいただきたい。また、関連する温泉プールについても今後示されたい  
と思います。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

会員券の廃止により、漁火の利用者数は減少するのではないかと心配されていま  
しが、令和5年度の実績では約4,800人の増となっています。休館中の回数券の  
販売も延長するなど、今後もサービスの向上に努め、集客を図ってまいりたいと考  
えています。

また、アクティブハウス越前の温水プールについては、プールの躯体の耐用年数30年を経過しており、周辺施設を含めて再整備を検討していきたいと考えています。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） アクティブハウス越前の温泉プールについてお伺いをいたします。

温泉プールについて、なぎさの湯、道の湯の運営について週1の休みを週2にしてほしいと求められ、温泉プールについても冬期間、あまり利用客も少ないのと、油の燃料費も上がってきているので、休ませてほしいと言われたので、温泉の休館日については休みが重ならないように伝え、温泉プールの休みはあくまでも冬の間としか理解をいたしておりません。春頃になれば再開されるものと楽しみにしていた矢先に、修繕費用が1億8,000万円かかるとの説明を受けたのですが、最初の油の高騰によるための冬期間休ませてほしいと言われたときの話は何だったのか、お伺いをいたします。その時点で修繕することは分かっていたのではなかったのかどうか、お伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

それでは、お答えいたします。

冬期間の休館につきましては、露天風呂漁火を含めた決算が令和3年度は約8,200万円、令和4年度は約9,200万円と赤字額が増えてきており、今後も施設の老朽化に伴う修繕費の増加や光熱費の高騰等により、赤字が膨らむことが懸念されたことから、利用客の少ない10月から3月を休館することといたしました。休館前から施設の老朽化による漏水や設備の故障などありましたが、随時必要な修繕などの対応をしながら営業を続けてまいりました。今回の休館延長は営業時からの故障が原因ではなく、10月から休館したことで判明したプール槽及び温泉浴槽のひび割れ、コーキング等の劣化による漏水、また再開に向けた機器整備の点検により、主要設備の温水配管や制御盤などに故障箇所が確認されたことによるもので、現状は3月定例会で議員の皆様にご視察いただいたとおりです。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 10月から休館したことで判明したプール槽及び温泉浴槽のひび割れ、コーキング等の劣化による漏水について、高波の被害を受けたときには気づかなかったのかどうか、お伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

令和3年11月の高波では、南側のガラス数枚とデッキ及びプール棟のタイルが破損するなどの被害を受けましたが、プールの躯体及び機器には被害はなく、今回の故障とは関連はございません。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 再開に向けた機械設備の点検で、主要設備の温水配管や制御盤などによる故障が確認されたことによると説明を伺いましたが、なぜもっと早く議会に対して説明がなかったのか、お伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

今回の故障は、営業再開に向けて1月に機器等の点検を行ったことにより判明した

ものです。その後、2月の議員月例会で、状況と今後について速やかにご報告させていただいたものと考えています。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 1億8,000万円と議会に報告があったが、この時点で原因が判明しているのであるならば、修繕に対して前向きに感じられないと思うが、どうなのか、お伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

修繕については多額の費用を要することとなりますので、施設の老朽化の状況や経営状況、議会のご意見を考慮した上での判断が必要であると考えたものです。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 玄関先に当分の間、休ませてほしいと知らされているが、当分の当分とはいつ頃を目安にして待っていればいいのか。もう少し具体的にすべきものかと考えられるが、お考えをお聞きいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

道の駅越前の入り口において、貼り紙により温水プールの休館をお知らせしていますが、現段階では再開等に関して具体的なことをお示しできる状況にございません。

以上でございます。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） この温泉プールは、夏場の異常気象による夏の海水浴客の皆さんの利用が近年増えているかと思っております。理由は海水浴へのイルカが入ってきたり、40度を超えたりして、熱中症にかかるお子さん連れのお客さんが利用されたり、突然の雷雲が発生して、避難場所にされたりと、利用客は戻ったように思われています。観光の町として一日でも早く修繕する考えにならないかどうか、お考えをお伺いいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

アクティブハウス越前の温水プールは、平成4年の営業開始以来32年が経過しており、新たに判明した損傷箇所等を含め、安全に営業を再開するには膨大な修繕費用が必要となります。当施設は町民の健康増進と観光の目玉として整備され、オープン当初は約9万人の利用がありましたが、年々利用客が減少し、令和4年度では1万5,000人程度まで減少いたしました。仮に修繕し、再開したとしても再び同じような事象が現れることも考えられることや、経営改善も見込めないこと、また厳しい財政事情からも修繕は現実的でないと考えています。

また、先ほども申し上げましたが、現在、周辺施設も含めた道の駅全体の再整備を関係者で検討しているところです。今後、議会や専門家、町内の若者等で構成する検討委員会を立ち上げてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 町長、これは長須浜の海水浴場、あのところに今イルカが来たので、逃げてくれというんですか、こういうのが毎年イルカによって毎日のように、こ

ういう貼り紙が貼られているような現状であります。これで観光客の誘客をしようと言ってもなかなか大変なことかと思っております。そこで具体的に業者に対して調査を依頼をしているのかどうなのか。安全に営業を再開するには、膨大な修繕費用が必要となるというが、調査をすべき問題だと思うが、どうかお伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

修繕費用に関する調査については、ふだんメンテナンスを行っている業者から現場の状況を調査した上で見積りを取っておりますので、今後、追加の調査は考えておりません。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 当初は9万人の利用者があったが、令和4年度は1万5,000人まで減少したというが、この間、法人の会員券をなぜお願いしなくなったのか、いつ頃から廃止されたのか、お伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 産業理事、水島。

法人会員券につきましては、平成16年には7社のご利用があり、その都度更新をお願いしてまいりましたが、平成24年度を最後に申込みがない状況です。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） もう最後になりますが、平成3年2月14日、これで越前地区は準立地並みの対象になったわけでございます。そこで、核燃料税という恩典がついて回っておるんですが、この核燃料税を3年分ぐらい合算して県の原子力課にお願いして、これを有効に使って修繕する考えがないのかどうか。私から要望いたしておきます。この核燃料税を有効に使っていただきたいと思っておりますが、質問の通告にはないんで、要望としてお願いを申し上げておきます。

○議長（佐々木一郎君） 総務理事。

○総務理事（菅原辰彦君） 総務理事、菅原です。

核燃料税補助金につきましては、大変ありがたい財源でございます。現在、令和6年度については越前地区のごみ収集業務、あるいは農林水産関係業務、また道路の維持補修、観光、教育関係、様々な幅広い業務に充当させていただいております。この貴重な財源をアクティブハウスポールの修繕に全額、しかも複数年充当するというのは現在では非常に難しいとお答えするしかないかなというふうに思います。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） これは通告ではないんですが、副町長、どう思うか知りませんが、これは核燃料税の原子力課の、ここで3年分ぐらいのそういう合算はある程度認めてくれるような状態でありますんで、ぜひともその辺の核燃料税を有効に使っていただいて、3年分ぐらいの形でここへ、この温泉プールの事業にぜひ使っていただきたいと思っております。

終わります。

（午後1時42分終了）